

## 旧5市町村の農地・農家台帳が、各支所で検索可能に

大分県  
中津市農業委員会

### 合併の概要

合併年月日／平成17年3月1日  
合併分類／中津市に下毛郡4町村を編入合併  
適用法律／合併特例法

〒871-8501  
大分県中津市豊田町 14-3  
TEL0979-22-1111 FAX0979-24-7522

### システム統合の取り組み

#### 概要

農地基本台帳システムの統合方法  
・既存システムへの統合  
農地基本台帳システムの管理主体  
・農業委員会



▲各支所でも農地情報が検索可能に

サーバー・クライアント方式で、  
5市町村のシステムを統合

大分県中津市下毛地域の1市4町村の合併に伴い、農業委員会の農地基本台帳の統合が課題となり、合併協議会などでの検討の結果、中津市が活用する既存システムに統合することになった。方針のもと作業が進み、平成17年3月1日にサーバー・クライアント方式による統合システムが運用となった。

#### 合併前の各市町村情報

区分	人口 (農家人口)	世帯数 (農家戸数)	農地面積 (ha)	農地筆数 (筆)	活用台帳システム (会社名)
中津市	67,083 (7,310)	25,821 (2,153)	2,040	52,000	国際航業(株)
三光村	5,713 (2,767)	1,826 (772)	804	12,000	(株)OEC
本耶馬溪町	3,910 (2,343)	1,293 (664)	470	17,600	なし
耶馬溪町	5,459 (3,622)	1,773 (989)	775	17,000	ソリマチ(株)
山国町	3,452 (2,259)	1,179 (634)	394	9,000	なし

## システム統合の経過と 運用方法

### ■ 経 過

平成 15 年 2 月

合併協議会電算システム統合班を編成。住民基本台帳および固定資産税台帳、農家基本台帳、下水道システムまでの統合の協議を開始。



#### ココがポイント！

システム統合は農業委員会関係の補助金対象とならないため、合併の補助金で対応した。

平成 15 年 5 ～ 7 月

電算システム統合班・農業委員会部会が開催され、合併後のシステム運用が協議された。基幹システムを中津市に統合することが決定した。



#### ココがポイント！

システムの統合には、膨大な経費がかかるため、データを統合後、貸借情報を手入力で行った。

平成 16 年度

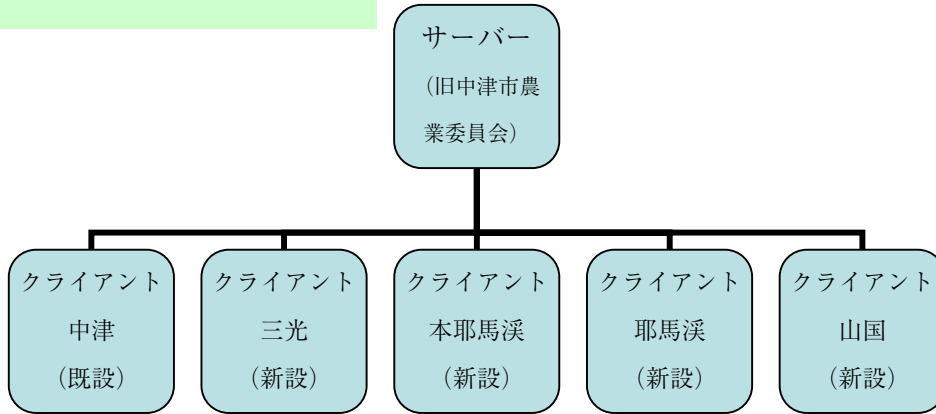
1市3町1村の住民記録および税務情報を統合した後、各市町村にデータを分割して、それぞれの市町村で貸借情報を入力。すべてのデータベースを保存した上で、移行用データを出力し、この移行用データを統合させる。



平成 17 年 3 月 合併

統合システムの体系

クライアント・サーバー型



## ■合併実務担当者へのアドバイス

合併におけるシステム統合は、時間が限られているため、少ない時間の中で既存システムの把握やシステムの選定を行わなければならない。また、システム統合については国のシステム整備事業の補助対象にならないため、予算面での検討が不可欠となる。

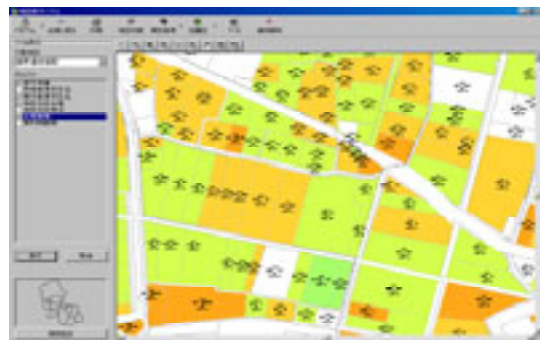
## ■効率的運用に向けた対応

年に1回以上の住民記録・固定資産土地情報を利用したデータ更新を予定している。ただ、個人情報保護条例などを遵守し、プライバシー侵害、情報の漏洩に細心の注意を払っている。

## 活用事例

システム統合で業務が迅速化。  
全市の農地・農家台帳が支所で検索可能に

5市町村の合併に伴い、市の行政規模が大きくなり、支所を設置することになったが、データ整備・システムの保守が統一されているため、全市の農地・農家の台帳をそれぞれの支所で簡単に検索できるようになり、住民サービスの向上が図られた。



▲地図システムとの連携で、瞬時に農地を確認

### その他の活用例

- ・ 地図に農振用途区域を色塗りして、わかりやすく管理している。
- ・ 無断転用の確認に活用している。
- ・ 農家・農地情報を CSV 形式（ワード・エクセルなどのデータ）に落とし、農業委員会のさまざまな業務に活用している。